

令和6年度第9回 感染症発生動向調査協議会

令和6年12月18日

月番：加藤達雄

1 前月の感染症発生動向について（2024年第45週～48週・11月）

<全数把握対象疾患>

- ・結核患者14名、潜在性結核感染症4名の報告があり、10才代から90才代まで幅広い年齢にみられている。本年累計では、前年比で結核患者111.0%、潜在性結核感染症142.4%と増加している。
- ・腸管出血性大腸菌感染症は、5名の報告があり、O157 2名、O26が2名であった。
- ・つつが虫病が、1か月で8名と多くの報告があった。
- ・レジオネラ症が5名報告されている。
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症は2名の報告あり、本年累計では前年比185.7%と増加している。
- ・水痘（入院例）が3名の報告があり、本年累計では前年比183.3%と増加している。
- ・梅毒は、早期顕症4名、無症候1名の報告があった。

<定点把握対象疾患>

- ・新型コロナウイルス感染症は、やや増加傾向があるが、前月比87.8%と先月よりは減少している。
- ・インフルエンザは前月比309.5%と増加傾向であるが、前年より立ち上がりが遅い。
- ・マイコプラズマ肺炎は、前月比115.9%と増加しており、0～10才代に多く報告されている。

2 検討すべき課題

- ・岐阜県の急性呼吸器感染症(ARI)定点医療機関の指定について

厚生科学審議会感染症部会での審議を経て感染症法施行規則の改正により、令和7年4月7日から急性呼吸器感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となる。

<事務局から>

- ・年末年始の海外旅行にむけた感染症への注意喚起について

3 情報提供（月番委員専門分野から）

・「マイコプラズマ感染症（マイコプラズマ肺炎）急増にあたり、その対策について」 日本感染症学会、日本呼吸器学会（感染症・結核学術部会）、日本化学療法学会、日本環境感染学会、日本マイコプラズマ学会

4 その他（感染症対策推進課から）

（国通知・事務連絡）

- ・ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について
- ・今冬の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えた保健・医療提供体制の確認等について
- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について（施行通知）

- ・ 新生児におけるエコーウイルス 11 型（E-11）感染症の発生について（注意喚起及び情報提供依頼）
- ・ 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会におけるHPVワクチンのキャッチアップ接種に関する議論について
- ・ HPVワクチンのキャッチアップ接種に関する注意喚起について
（県公表資料）
- ・ 季節性インフルエンザ注意報を発表しました

＜検討結果＞